

「VIRTUAL SHIZUOKA」が率先するデータ循環型SMARTCITY実行計画（静岡県）

3次元点群データで創る「VIRTUAL SHIZUOKA」をあらゆる分野へ活用し、誰もが安全・安心で利便性が高く快適なまちを目指す。

- ### 目標
- ・くらし満足度の向上・住みやすさ指標 60代以上で1割向上
 - ・VRコンテンツによる観光客数の増加
 - ・災害時の通行止め日数 2割削減
 - ・VRを活用した防災訓練による意識向上
- ※定量目標については、今後取得していくデータ等に基づき設定、改善していく予定

取組概要

MaaSと連携した自動運転

伊豆観光型MaaSとの連携概要

【地域交通＋観光交通】
自家用車に代わる快適な移動を実現する

観光政策へのVR活用

- ・3次元点群データを活用したVRコンテンツにより、時間や天候、障がいの有無に左右されない魅力を体感
- ・伊豆半島ジオパークミュージアム（ジオリア）にVRを設置し、バーチャルツアーの有効性を検証

将来像

VIRTUAL SHIZUOKA 構想

3次元点群データを、インフラ維持管理や自動運転、観光や防災・減災等、あらゆる分野において「共有・利活用」し、様々なデータベースと連携することにより、効率的・効果的なデータ循環型のスマートシティを目指す

サイバー空間（仮想）
フィジカル空間（現実）

県土の3次元化 → あらゆる分野へデータを活用

体制

事務局 (静岡県)	ソフトバンク	事業計画、通信、共通基盤
	ダイナミックマップ基盤	自動運転用地図作成
	タジマモーターコーポレーション	自動運転車両
	東急	伊豆観光型MaaS連携
	ナイトレイ	SNSデータ解析
	パスコ、三菱電機、三菱総研	3次元位置情報 等
	熱海市、下田市	地元調整 等
静岡県	3次元点群データ取得	

「VIRTUAL SHIZUOKA」が率先するデータ循環型社会コンソーシアム

スケジュール

2023年度実装	2024年度以降実装
<p>VRバーチャルツアー</p>	<p>自動運転技術</p>
	<p>災害状況把握</p>
	<p>防災シミュレーション</p>
	<p>インフラ維持管理</p>